

# 田尻だより

平成 21 年

6月号

Vol. 75

次の田尻便りは  
7月1日発行です。

入梅の候 雨が大地を潤し、田んぼにはカエルの合唱が響き渡っています。

徐々に増えている新型インフルエンザですが、梅雨時期にさしかると感染は収束すると予想されています。色んな意味で、今年の雨は「恵みの雨」となりそうです。



5月26日 長男のあきとが1歳の誕生日を迎えました。

「農政のなすべきこと？」  
5月9日の毎日新聞に「野菜工場の普及へ法改正」という記事がありました。コンピュータ管理された水耕野菜工場を、国が支援するといふものです。

野菜工場では徹底した衛生管理と温度、湿度、日照制御によって、年に28回もレタスが収穫でき、農薬も不用。農水省は3年後に工場数を150箇所を増やせるよう助成することのこと。

しかし、そもそも野菜の自給率は8割にも達し、野菜を輸入するために自給率が下がっているのが現状です。さらに工場野菜が増えると、日本の野菜農家はどうか。

工場野菜は冷暖房などの維持管理費により、価格が3割高とのこと。人間がクールビズを行う一方で、野菜の冷暖房費を消費者が支払うとは……。これ以上の皮肉はありません。

11月で、あきとが1歳の誕生日を迎えました。



倒れるほど背負って歩くと、背中の温度(?)は儀式

今日は華を以て外を歩くのが大好きです。

## 未 暦 ～こめごよみ～

- 5月2日～28日 代掻きをしました
- 5月19日～29日 田植えをしました
- 5月24日 環境会計研究会が行われました。

環境再生へどれだけ寄与したかを数値化する環境会計の研究会が田尻で行われました。全国の議員さんが集まって稲香米の田尻を視察し、私たちの取り組みと提言に耳を傾けて下さいました。

## 嫁日記

多忙、多忙、多忙…。今だかつて、こんなに忙しかったことはありません。特にこの4月・5月といったら、まさに地獄の忙しさです！

この忙しさの最大の原因は高校の講師をするようになったからで、週に2回の授業以外にも雑務があり、週

の半分はそれに拘束されています。その他にも、講演の依頼やNPO田んぼのオブザーバー、田尻のグリーンツーリズムの民泊の副会長といった役職まで頂いて、それこそ目が回る忙しさ。

かと言って、子育てにお休みはあるはずもなく。大家族とはいえ、母親はやはり私にしかできないのよね。